

4月28日(日)開催 第3061回例会
単独例会「春満載・ぐるっと巡る有馬富士」に参加して

布引支部 M.S

3日後には新しい天皇が即位され「令和元年」の誕生!・・・何だか元号「平成」の終わるのが寂しい様な気持ちがしていた4月28日、平成最後の例会「春満載・ぐるっと巡る有馬富士」に参加させて頂きました。

JR新三田駅9時集合。自宅のある西明石からは、尼崎まで乗って福知山線に乗り換えねばならず1時間半ほどの時間が必要。家事を持つ身としては、集合を30分遅らせて～と恨めしく思いながらも何とか集合時間に間に合いました。

麗らかな天候に恵まれた中、有馬富士公園を目指して車道に沿った歩道を歩きます。この道は「北摂里山街道」と呼ばれているとの説明通り、里山の風情があります。ゆっくりと歩いて30分程で公園中央入口に到着しました。



真っ白な花をいっぱいつけたリキュウバイ

小休止の時間を利用して、吉野会長より公園の歴史や今から登る有馬富士のこと、又入園後のコース説明などを聞いた後入園しました。時間が早かったのか、入園者はほとんどいませんでした。入園後にすぐ有馬富士を望めたのですが、有馬富士を眺める絶好のポイントは、少し下った先にある「福島大池」だということで、歩を進めました。なるほど、大池の西橋から眺める有馬富士は最高のロケーションでした。真っ青な空に白い雲。山の緑とピンク色の名残りの桜。右側方向にはふるさと兵庫100山の「羽束山」が有馬富士をひき立たせるように静かに座って

いました。・・・



福島大池の奥に見える秀麗な有馬富士

歩行コースは池の左側から時計回りに歩いて、ひとまず対岸に見える茅葺家屋の休憩所まで。ここで一休みをして南側の登山口から入山です。「有馬富士公園エリアは県が管理する公園だが、この山は三田市が管理する有馬富士森林公園エリアの中に位置します。両エリアを併せるとかなり広大な面積となります」との説明もありました。森林公園エリアの広場は子供達が遊ぶのにもってこいの広さで、三田市の小学校では野外実習が行われるだろうな・・・などと思いながら登りにかかりました。僅か374mの標高しかない低山ですが、山頂手前の急な岩場は登りごたえがあって結構面白く、皆さんも楽しんでおられたように見えたのですが、如何だったのでしょね?



僅か標高374Mの有馬富士山頂

山頂からの展望はあまりよくありませんでしたが、木々の間からは六甲山地がほとんど見えて、1月から3月にかけて歩いた「ヒヨコの3分割六甲全山縦走」を思い出し、あらためて六甲山の雄大さに感激しました。



木々を通しての六甲山地遠望

下山は北西側から登ってくる登山道を下って

再び福島大池に出ました。昼食は登山開始前から決めておられた池の南側の木立の下でした。丁度 12 時前の到着で、おもいおもいに腰を下ろし、桜は終わりかけてはいましたが、新緑が眩しいくらい鮮やかで、池を渡るさわやかな風と共にゆっくりと昼食を楽しみました。・・・

天 候 晴れ

参加者 53 名

追記：この例会は、兵庫県山岳連盟普及委員会が加盟団体同調企画として行いました。



有馬富士公園が刻まれた石表札の前で